

コーナー展 子ども歴史展示コーナー「どう変わった？身のまわりの便利な道具」

期間	①令和3年7月11日（日）～令和3年10月3日（日）68日間 ②令和3年12月11日（土）～令和4年1月30日（日）39日間 計107日間				
会場	小講堂				
有料観覧者	一般1,843	小中293	一般団体0	小中団体0	有料計2,136
無料観覧者	区関係292	区内小中625	招待24	高齢者602	無料計1,543
					総計3,679

【開催趣旨】

品川歴史館は毎年夏休み期間中、小学生を対象にして体験型の展示やワークシートを取り入れて、楽しみながら歴史を学習する機会を提供している。

本年度は、「衣食住にまつわる道具の変遷」に焦点をあて、明治期から昭和期にかけて使用された道具を展示した。また昔の道具の使用風景を描いた「竹内重雄大正風俗スケッチ」の複製も併せて展示した。

【展示内容】

①「衣」にまつわる道具

火のし（アイロン）、電気アイロン、洗濯板、洗濯機

②「食」にまつわる道具

氷冷蔵庫、釜、七輪、ガスコンロテーブル

③「住」にまつわる道具

火鉢、ガストーブ、遠州行灯、電気スタンド、壁掛電話機、ダイヤル式黒電話機